

第1学年 国語科学習指導案

1 単元名 ぴったりの言葉で紹介しよう「おとうとねずみチロ」(東京書籍)

2 単元について

本単元では、いろいろな物語を読んで好きな人物を見つけ、その好きなところをカードに書いて友だちに紹介する言語活動を設定した。人物の好きなところを見つけるためには、その行動や会話に着目して読む力が必要となる。また、友だちに紹介するという目的をもっていくつかの物語を読み、自分の紹介したい本や人物を選ぶ力も必要となる。「おとうとねずみチロ」は、おばあちゃんからのチョコキを楽しみに待つチロの行動や気持ちを中心に描かれた物語である。時や場所の変化による場面の展開も分かりやすく、人物の行動もとらえやすい。チロの行動や会話には気持ちの変化が素直に表れており、様子を想像しながら読みやすい教材となっている。1年生の児童にとって、幼く素直なチロの言動は、共感しやすいと思われる。

指導にあたっては、チロの行動や会話に着目して読み、そこから分かるチロの行動や心の動き、人物像等を場面ごとに短い言葉にまとめていく学習をする。そこで出てきた言葉は「ことばのちょきん」として集めていく。そして、自分でチロの好きなところを選んで伝え合い、人によってよさを感じる部分がさまざまであるということや、よさを伝える言葉にはさまざまなものがあるということを実感させた。そこから、ほかの物語の人物にも目をむけ、第3次の活動で自分の好きな本を選び、友だちに伝える活動へとつなげたい。紹介カードは書く内容を項目分けし、児童が書くことに対して意欲をもって取り組めるようにする。また、学校図書職員と連携を図り、人物が明確で、行動に着目しながら楽しんで読める物語を準備し、並行読書を行う。担任による読み聞かせも取り入れ、読後に感想を共有し、そのときに出てきた言葉も「ことばのちょきん」に加える。児童の語彙を増やしていくことで、自分で紹介するときに活用できるようにしたい。何という言葉で紹介すればよいか、互いに助言し合えるように、グループ内で事前に選んだ本を交換して読み合う活動も取り入れる。今回は、同じ学年の友だち同士だけでなく、2年生にも好きな本の人物を紹介する場面を設定した。日頃のかかわりが多く、さまざまなことを教えてくれる2年生を伝える対象とすることで、主体的に、楽しんで活動に取り組めるようにしたい。

3 単元目標

人物の行動や様子に着目していろいろな物語を読み、好きな人物を紹介することができる。

4 単元の評価規準（全14時間）

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
○いろいろな物語を読んで、好きな人物を紹介する活動に意欲的に取り組もうとしている。	○人物がしたことを思い浮かべ、そのときの様子や気持ちを考えながら読んでいる。 ○物語を読んで好きな人物を見つけ、人物の好きなところをカードにまとめて伝え合っている。 ○いろいろな本を読み、友だちに紹介するための本を選んでいく。	○感想を伝える言葉にはさまざまなものがあることに気付いている。

5 指導と評価の計画（全14時間）

	時間	主な学習活動	評価規準と評価の方法
1次	1	○「おとうとねずみチロ」を読み、初発の感想を出し合う。	★「おとうとねずみチロ」を読み、初発の感想を出し合っている。 【関】（発言・行動観察）
2次	2～6	○「おとうとねずみチロ」に出てきた人物を確かめ、チロの様子や気持ちを想像しながら読む。 ・「ことばのちょきん」をして、紹介するための語彙を増やす。	★チロの行動や会話に着目して読み、そのときの様子や気持ちを登場人物の行動や会話に着目して想像しながら読んでいる。 【読】（発言・ワークシート・行動観察）
3次	7～8	○チロの好きなところをカードに書き、友だちと伝え合う。	★チロの好きなところをカードにまとめて紹介している。 【読】（発言・カード） ★感想を伝える言葉には、さまざまなものがあることに気付いている。【言】（発言・ワークシート）
	9	○これまでに読んだ本の中から好きな人物を選び、ワークシートに記入する。	★いろいろな本を読み、友だちに紹介するための本や人物を選んでいく。 【読】（行動観察・カード）
	10（本時）	○感想を伝えるさまざまな言葉の中から、紹介するための言葉を選ぶ。	★感想を伝えるさまざまな言葉の中から、紹介するための言葉を選んでいく。【言】（発言・ワークシート）
	11	○紹介するためのカードを作る。	★ワークシートをもとにして、好きなところを見つけカードに書き出している。 【読】（発言・カード）
	12	○カードをもとに、好きな人物を友だち同士で紹介し合う。	★書いたカードを読み合い、よいところを伝え合っている。 【読】（発言・行動観察）
	13	○2年生に、好きな本の人物を紹介し、一緒に本を読む。	★書いたカードをもとに、人物の好きなところを紹介している。 【読】（発言・行動観察）
	14	○人物の行動や様子に着目していろいろな本を読み、好きな人物を紹介することができたか振り返る。	★人物の行動や様子に着目していろいろな本を読み、好きな人物を紹介することができたか振り返る。 【関】（発言・行動観察）

6 本時の学習 (10/14)

- (1) 目標 感想を伝えるさまざまな言葉の中から、紹介するための言葉を選ぶ。
- (2) 準備物 絵本、ワークシート、付箋
- (3) 展開

学習活動	○指導上の留意点・支援 ★評価					
<p>1. 前時の学習を振り返り、本時の学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> しょうかいに ぴったりなことばを かんがえよう。 </div> <p>2. 自分で、人物の好きなどころを紹介する言葉を考える。</p> <p>・ワークシート</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">児童の反応例</p> <table border="1" style="margin: auto;"> <tr> <td style="padding: 2px;">やさしい</td> <td style="padding: 2px;">←</td> <td style="padding: 2px;">けるところ</td> <td style="padding: 2px;">くまのこが、いちばん</td> <td style="padding: 2px;">すきなこが、いちばん</td> </tr> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">ぴったりな言葉</p> <p style="text-align: center;">←</p> <p style="text-align: center;">すきなところ</p> <p style="text-align: center;">人物が、行動を</p> </div> <p>3. 友だちと一緒に考える。</p> <p>グループ内(3人)で、お互いにその人物が好きだと思った部分を見せ、どんな言葉がよいと思うか出し合う。</p> <p>・話型</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">わたしは、人物が、行動を</p> <p style="text-align: center;">するところが好きです。どんなことば</p> <p style="text-align: center;">がぴったりだとおもいますか。</p> </div>	やさしい	←	けるところ	くまのこが、いちばん	すきなこが、いちばん	<p>○選んだ本の好きなどころに付箋を貼った状態で、机の中に準備させておく。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 10の視点④ 「ことばのちょきん」として、児童が主体的に見つけたり、考えたりした言葉を、日常的に集め、整理することは、児童の語彙を増やすのに大変有効です。また、それを短冊にして黒板に貼り、視覚化することで、言葉での表現が苦手な児童が、言葉を選択しやすくなります。 </div> <p>○見通しがもてるように学習の流れを掲示する。</p> <div style="border: 2px solid red; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ○参考にしやすいよう、本時まで増やしてきた「ことばのちょきんばこ」の言葉を掲示する。 </div> <p>○考える際には、チロを紹介するときの言葉を参考にしてもよいことを伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p style="text-align: center;">【改善】児童の実態に即して、豊かな意見交換ができるよう、以下の手立てを用意した。</p> <p style="text-align: center;">①ワークシート ②話型の提示 ③時間を区切っての活動 ④付箋の色分け</p> </div> <p>○意見を出しやすいよう、事前に互いの選んだ本を交換して読み合っておく。</p> <p>○話型を提示し、話合いの進行の手助けとする。</p> <p>○出し合った言葉は付箋に書き、ワークシートに集め、後の活動に生かせるようにする。</p> <p>○思いつかない児童には、「ことばのちょきんばこ」の言葉から選ぶよう助言する。</p> <p>○時間を区切って、どの児童も話合いができるようにする。</p> <p>○活発に意見交換ができるよう、自分で考えていた言葉を伝えるのは、友だちから意見を出してもらった後にする。</p> <p>○グループの話合いが活発に行われているか、机間指導により確認する。</p>
やさしい	←	けるところ	くまのこが、いちばん	すきなこが、いちばん		

4. 友だちから出してもらった言葉と、自分で考えていた言葉を合わせた中から、紹介にぴったりの言葉を1つ選ぶ。

5. 本時の学習を振り返る。

【改善】 振り返りをさせる際の視点について、児童が本時の学びの成果を自覚できるよう「選ぶ言葉が変わった」「変わらなかった」という点から発表させることとした。

○2年生に紹介するのにぴったりの言葉を選ぶよう、声かけをする。

★感想を伝えるさまざまな言葉の中から、紹介するための言葉を選んでいる。【言】(発言・ワークシート)

○友だちとの話合いの中で、どんな言葉が出てきたか発表し合い、さまざまな言葉が出てくる楽しさを感じさせる。

10の視点⑧

友だちとの話合い活動を通して、自分の意見が「変わった」児童と、「変わらなかった」児童の、両方を意図的に指名し、理由も発表させることで、言葉を選択した理由もより明確にすることができました。また、新しく出てきた言葉を改めて「ことばのちょきん」に加えることで、児童が成就感を味わうことができ、次時の学習への意欲喚起につながります。